

新放
春談

今年の武雄市10大事業を大胆予測

- ① 地域創成資金が市内各地に配られる
(1 地区1,000万円～500万円)
- ② 新武雄温泉駅の南口半分が建設される
(高架切替は20年 3 月)
- ③ (新)かわのぼり保育所建設完成
(東川登・西川登保育所は統合は 4 月より)
- ④ 市の景観条例が策定され、建物・看板の規制か
(同時にサイン(広告)計画も作られ、木製看板へ統一)
- ⑤ 武雄市初の公共下水道(川端地区)の利用開始
(山内町大野地区も開始で、山内町整備完了する)
- ⑥ 世界一の飛龍窯の改築
(登り窯祭り開催時期は未定)
- ⑦ 保養村・エポカル武雄の名称が変更される
(がばいばあちゃん資料館が温泉街に開店)
- ⑧ 朝日町に市民グラウンド及び新保育所着手?
(一方、山内町福祉センター計画も着手か?)
- ⑨ 新武雄市のマスタープラン策定される
(新行革プラン・新下水道マップも作成される)
- ⑩ (新)広域ゴミ処理センターの場所選定
(現在の杵藤地区と有田・伊万里地区と合同処理)

今年の議員活動目標

頌 春

昨年は、がばいばあちゃんでPRをした1年でしたが、今年は、がばい市民が、意見やアイデアを出して、武雄市の将来を決める事になる重大な年です。

たとえば、水道料・固定資産税・介護保険料の値下げは、H20年か

要は、合併後の市民負担や行政サービスが、明確になる年です。また、大町等が、再合併を正式に申込んで来る可能性もあります。一方、私の今年の活動方針は、合併のメリットを生かし、高サービス・低負担の為に頑張ります。



九州新幹線はN700系を導入する
新幹線は200K以上のものでフリーゲージは、
元々新幹線ではないと聞く

武雄市議会だより 栄八通信

第 29 号



武雄市議会議員

宮本 栄八
TEL・FAX 23-0750
携帯 090-5083-0793

① 4 7 10 月末発行

新春 新幹線問題を考える

最近、時々、市民の方から、新幹線建設に対する私の考えを聞かれることが増えて来ました。

旧武雄市の時に、議会で、長崎新幹線の建設促進の決議があり、その時に、自分の態度を明らかにしなければならなかった。

私としては、特急の停車本数も増加し、予定の新嬉野温泉駅は、市内の西川登町にも近く、現在より、武雄市の利便性は高まる。また、建設費も、国がJR各社に、新幹線をリースした収入から、まかなわれることから、国の予算とは別目的なので、国がその方針を続ける間は、利用した方が得策と判断した。一方、市の負担は、5億円程度で、年5千万円で、市民が合意すれば、出せない金額ではなく、無いよりあった方が良いと賛成。

一方、私は、博多―武雄間が、5分程度の時間短縮効果しかなく、予定のフリーゲージトレイン(新幹線と在来線を車輪を上げて両方を走る。)では、県や市が言うような、大量の観光客の増加や、経済活性化は、無理で、虚構か詐欺に近い宣伝と見る。

また、言い分がましく、新幹線は、手段であって、活用は市民や業者の努力次第だといと、すでに、結果に対する責任転嫁も見えらる。

ここ最近、明らかに成って来たのは、このフリーゲージ新幹線では、現在の特急と同じ博多止りがほとんどで、東京・名古屋行きは予定すらなく、フル規格(普通の新幹線)で整備しないと、最初から負ける様な整備では意味がない。以上の考えから、日常生活の利便性向上なら、フリーゲージ等のスーパースペシャル方式でも良いと思う。しかし、観光や流通・産業の振興の為に、フル規格が必要。

このフル規格については、JR九州も望んでいるが、県の出した

どうなる「かんぽの宿」の転売

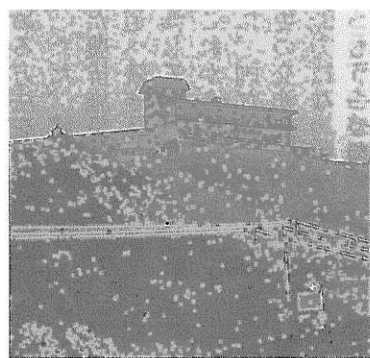
保養村の最上段の北ヶ倉山に立つ、武雄かんぽ保養センターが、郵政民営化にともなって、売却や閉鎖話が、数年前よりあり、いよいよ、今年2月をもって業務を中止し、3月より清算に入る事が、昨年度に発表されていた。

9月議会頃までは、市は、郵政公社から売却の打診はないとの事でゆっくり構えていた。

ある会合の席で、市民の方からもう、かんぽは、予約客の営業を中止しているのだから、早く市も方針を決めないと、継続的経営ができないのではとのアドバイスを受け、商工観光課に、さっそくたずねると、郵政公社から最近金額の打診があり、12月中には決着するとの話だったが、電話やメールでの交渉と言うことで、心配していた。

一方、市長が、12月議会の中で、かんぽは、市が購入して、すぐ地元業者に優先し転売すると、唐突に発言されて、びっくり。

ただ、転売先がすぐ見つかるか?



良い買い手がつくことを望む

また転売の方法などは、明確に示されず、購入金額が高額の場合、開発公社のように、不良資産を市が抱えこまないかの不安を持った。

1月になって、売却額が、約1億円と分ったが、以前の武雄温泉ハイツは、約1千万円だったの、少し高い感じはする。

なにせ、タイムリミットも、せまっているのに、具体的説明も少ないので、議員の中には、市長は転売先の業者は、もう決めて、当てるものではとの疑念の声も。

くどいPRよりも、市民の聞きたい事への、十分な説明を望む。

地元案を、尊重しているとの事。

だから、私は、県や市が、新幹線による活性化を望むなら、フル規格案も作成し比較検討するべきと思う。

たしかに、十数年前に、県の方針が、当時の井本案で、県東部にメリットがないと反対が多くなり、スーパースペシャル方式になったが、現在、東部の鳥栖市を中心に新幹線による浮揚を求めている様子で、以前と前提条件も変化しているの、着工が遅れたのをチャンスととらえ、作るなら首都東京まで直通の新幹線で目指せば、鹿島市の反対理由として言う「意味のない新幹線の為に犠牲になりたくない。」という主張の答えにもなる。

H17年度の決算認定のポイントをお知らせします。

平成17年度の決算委員会が、昨年の11月6日から17日にありまし

た。旧市町の分の11ヶ月間は、旧市町の議員で審議し、3月に合併して新市の1ヶ月分は全員で審議する、異例の変則的な対応でした。

以前にも、述べましたが、旧武雄市では、単に昨年の決算を認めるのでなく、決算から問題点や課題を指摘して、12月から始まる、新年度の予算査定に、議員の意見を反映できる意味合いもあります。

私が新人の時、当時議長の原氏は、質問にあたり、「知らん事は聞くとでなく、知った上で聞かんといかん。」と教えられました。

私は、最初、良く意味が判らなかったが、後に、問題点を深く研究して、質問の形で指摘する事が大事との意味だと分り、実践中。

一方、具体的なH17年度の決算について説明すると。

3月に一応事業を終了し、5月末の出納閉鎖まで事務を行なう。その後、決算書を作成し、8月に監査委員2名が、意見書を付けて、市長が、9月議会に提出し、11月に審査するとの段取り。

【一般会計】全般について監査委員は、「市民税や固定資産税の繰越滞納分が14割しか回収できていない事。経常収支の比率が、約93%で、危険ラインの90%を越えている事。公債費(借金返済)が16%と県内平均より多い事など、が指摘してあります。

ただ、私が一番心配するのは、夕張市などの破綻は、一般会計そのものは、国の交付税で、最低限成り立つが、他の負債を一般会計

で最後は面倒見ることになることです。そこで、市の一般会計での補填や市民の負担増になる部分の状況を、伝えたいと思います。

まず、特別会計では、

【国民健康保険特別会計】収入が、約52億2千3百万円。支出が、約51億4千7百万円で、7千6百万円の黒字決算。

しかし、H16年度より2億5千5百万円の繰越金と、8千万円の基金を取り崩して入れているので、単年度収支は、2億5千9百万円の大赤字で、大変な状況。

【競輪事業特別会計】H16年度は、約125億円の収入であったが、H17年度は、ふるさとダービーが、武雄で開催のため202億円の収入で、支出が、約200億円で、2億円の黒字。

また、公営企業会計では

【市民病院企業会計】脳神経外科医が、大学に引き上げられ、大変な状況になるとおもわれていた年だが、結果的には、H16年度と比較して、医業収益で見れば、17年度が逆に微増していた。

その理由は、消化器系・呼吸器系が増加したとし、院長の話によれば、医師が、フル回転で頑張ってもらったとの話で、感謝したい。

また、経費削減も幾分進み、結果7千4百万円の赤字だが、減価償却費が1億7千万円あるので現金的には1億円は内部留保として

いる。

【水道企業会計】旧市町別の会計になっていて、武雄水道は、1億2千5百万円、北方水道は、1千5百万円の黒字。

一方、山内水道は、5百万円の赤字で、新市トータルで、H17年度は、1億3578万円の利益。

また、これまでの利益積立金は武雄14億2百万円・山内9千5百万円の約15億円の利益積立金があるにもかかわらず、水道料金は高い状況。

【工業用水道企業会計】日量2300tの供給ができるが、約1%の220tの利用しかなかった。若木工業団地の豊田合成さんが、青色発光ダイオードの製造で、約152千t利用の予定で期待していたが、結局例年どうり一般会計から約6千万円補填。

【松山市の下水道事業】まず、温泉旅館の加入については、道後はもうかっているのか、引きはせず、ほぼ加入、ただ市営の道後温泉は未接続とのこと。

下水道処理場の上部の利用で、昭和33年に着手した。中央処理場の上には、テニスコートや芝生広場・子供広場を整備済み。だがこれに国庫の補助金がないことや、公共下水道は、区域拡大に伴い増設して行くので、一応の整備が終るまで利用しにくい、住民の要望を聞き整備したと言う。

また、下水道の加入率アップの為に「水洗便所改造に40万円貸付」や「不用浄化の雨水貯留の活用」に20万円の補助」などあり、また、接続案内に、職員が1人300件の訪問。シルバー人材センターから3人雇用し、18年度は4000件を接続勧奨すると言う。

【さぬき市下水道統合】香川県の5町が合併し、14年4月に5500人の新市施行。

水道料金は、㎡当り、130円、

【松江市・市設置型浄化槽整備】島根県の松江市は、有名な宍道湖を有して、その浄化の為に、公共下水道・農排・漁排・公設浄化槽と、各種の手法を平行して進めH21年度100%の普及を目指す。

説明をされた課長は、約20年、下水道関係の仕事ばかりやっているとのこと、武雄市も、スペシャリスト作りも必要かとも思った。

また、調査項目、公設浄化槽事業については、何の問題もないと簡単な答えで、加入金も、農排や漁排と同様の30万円程度と言う。武雄市の農排は、10万円からすればかなり高い設定。

また、公共下水道も、工区の工事費の5%程度を宅地面積で割った金額とかなり、住民に負担を求

める方法を取っていた。

ただ、感心したのは、古くなった農排施設を改築せず、公共下水道へ続き込む事などを、国庫と交渉して、可能にしたと言うことで、これからは、施設の有効活用のために、国などの認可機関との計画変更の交渉力も、行政マンの重要な能力になって来たと感じた。

もう一つ参考になったのは、下水道管の布設と同時に、上水道の老朽管も同時に更新し、水道事業費を大幅に削減したとの事で、事業間の統合能力も大切と思った。

【出雲エネルギーセンター】出雲市・太田市・雲南市の他4町1村の広域ごみ処理施設で、約15万人分の、可燃ごみを燃やし、年、1800万KWの発電をして

いる。方式としては、ガス化溶融といって、蒸し焼きにして、可燃ガスとチャーと言う炭にして、それを燃やして発電し、余った電気は電力会社に売っていました。

ただ、ここは、建設費を安くする為か、可燃物のみを処理し、不燃物や資源物は、各市の以前の処理施設の機械を活用していた。

【行政視察に行つて来ました。建設常任委員会】松山市「下水道・高架」さぬき市：「上水道」

【松山駅周辺高架区画整理事業】現在、都市計画決定前で、工事はまだだが、PRビデオは、変化を具体的に表現してあり市民の理解を得る為の努力を感じた。

また、武雄市に、参考になる点としては、武雄が、高架と松原通りの拡張と、二の字型の整備に對し、松山は、整備効果を高める為に駅周辺を、目の字型に、幹線を整備し、区画を整理すると言う。

【松山市の下水道事業】まず、温泉旅館の加入については、道後はもうかっているのか、引きはせず、ほぼ加入、ただ市営の道後温泉は未接続とのこと。

下水道処理場の上部の利用で、昭和33年に着手した。中央処理場の上には、テニスコートや芝生広場・子供広場を整備済み。だがこれに国庫の補助金がないことや、公共下水道は、区域拡大に伴い増設して行くので、一応の整備が終るまで利用しにくい、住民の要望を聞き整備したと言う。

また、下水道の加入率アップの為に「水洗便所改造に40万円貸付」や「不用浄化の雨水貯留の活用」に20万円の補助」などあり、また、接続案内に、職員が1人300件の訪問。シルバー人材センターから3人雇用し、18年度は4000件を接続勧奨すると言う。

【さぬき市下水道統合】香川県の5町が合併し、14年4月に5500人の新市施行。

水道料金は、㎡当り、130円、

【松江市・市設置型浄化槽整備】島根県の松江市は、有名な宍道湖を有して、その浄化の為に、公共下水道・農排・漁排・公設浄化槽と、各種の手法を平行して進めH21年度100%の普及を目指す。

説明をされた課長は、約20年、下水道関係の仕事ばかりやっているとのこと、武雄市も、スペシャリスト作りも必要かとも思った。

また、調査項目、公設浄化槽事業については、何の問題もないと簡単な答えで、加入金も、農排や漁排と同様の30万円程度と言う。武雄市の農排は、10万円からすればかなり高い設定。

また、公共下水道も、工区の工事費の5%程度を宅地面積で割った金額とかなり、住民に負担を求

める方法を取っていた。

ただ、感心したのは、古くなった農排施設を改築せず、公共下水道へ続き込む事などを、国庫と交渉して、可能にしたと言うことで、これからは、施設の有効活用のために、国などの認可機関との計画変更の交渉力も、行政マンの重要な能力になって来たと感じた。

もう一つ参考になったのは、下水道管の布設と同時に、上水道の老朽管も同時に更新し、水道事業費を大幅に削減したとの事で、事業間の統合能力も大切と思った。

【出雲エネルギーセンター】出雲市・太田市・雲南市の他4町1村の広域ごみ処理施設で、約15万人分の、可燃ごみを燃やし、年、1800万KWの発電をして

いる。方式としては、ガス化溶融といって、蒸し焼きにして、可燃ガスとチャーと言う炭にして、それを燃やして発電し、余った電気は電力会社に売っていました。

ただ、ここは、建設費を安くする為か、可燃物のみを処理し、不燃物や資源物は、各市の以前の処理施設の機械を活用していた。

【出雲エネルギーセンター】出雲市・太田市・雲南市の他4町1村の広域ごみ処理施設で、約15万人分の、可燃ごみを燃やし、年、1800万KWの発電をして

いる。方式としては、ガス化溶融といって、蒸し焼きにして、可燃ガスとチャーと言う炭にして、それを燃やして発電し、余った電気は電力会社に売っていました。

ただ、ここは、建設費を安くする為か、可燃物のみを処理し、不燃物や資源物は、各市の以前の処理施設の機械を活用していた。

【出雲エネルギーセンター】出雲市・太田市・雲南市の他4町1村の広域ごみ処理施設で、約15万人分の、可燃ごみを燃やし、年、1800万KWの発電をして

いる。方式としては、ガス化溶融といって、蒸し焼きにして、可燃ガスとチャーと言う炭にして、それを燃やして発電し、余った電気は電力会社に売っていました。



松江市で環境の委員長として挨拶



出雲エネルギーセンター

国道35号と498号の早期完成

◎35号問題と言え、旧武雄―山内界の踊瀬のS字カーブの改良で、H14年から期成会を作った、国に陳情。H16年に予算化されたが、まず、立入調査に、旧山内町の地権者が同意してもらえず停滞したが、合併までに解決。

次に、新市になり、測量調査に入ったら、今度は、旧武雄市の地権者から、調査に同意が得られずに日が過ぎていた。この2件共に、協力しない理由が、昔の案件に対する行政の対応に腹を立てての反発と言う事であった。

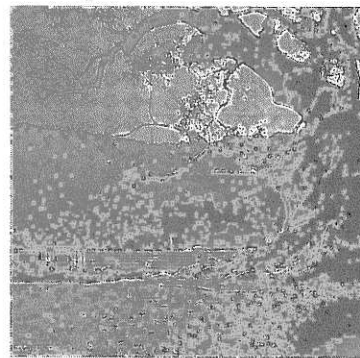
9月議会では、市長が出向で決着すべきとの議員の提案に対し、行ったが良い場合と、悪い場合があるとして、まだ行かない方針。12月議会では、私は、市長が合意して最終判断をすべきとして、質問する予定だったが、古賀副市長が内諾をもらい、12月4日に市長もあいさつに行ったらしい。

今後の予定として、JRとのルート決定に2年、用地取得に1年工事、2年かかると計5年先になるので、JRとの協議の短縮や、用地の先行取得、また合意の場所や両端からの工事着手を願う。

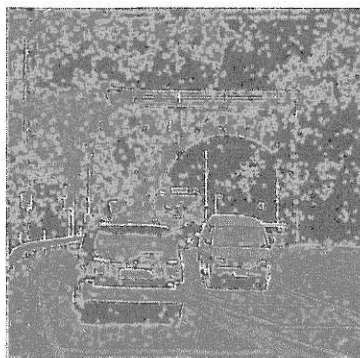
◎498号線問題と言つのは、伊万里から鹿島までの県道断続整備。現在、伊万里市の桃川まで整備済みで、武雄市の若木地区のルート案発表を、ここ数年、県に対して求めていた。しかし、何年も明確にされなかった。

しかし、昨年11月に、発表されていたと12月に知り、茫然とした。その案が、県の天然記念物の若木の大楠の後方に、高く盛り土をして通る案であり、現在、市長が政策の柱としている。自然景観の維持とまったく反する計画だからだ。

12月議会でも、市長に、この案で問題ないか?の問いに、せっかく



大楠の借景は重要



35号S字早期完成が課題

朝日町民グラウンド可能性あり

これは、公立保育所の朝日第1(高橋地区)と朝日第2(黒尾地区)を、H22年に、統合・民営化して、朝日小学校付近に移転する計画に合わせて、町民グラウンドを整備する案です。

朝日小の運動場が、少し狭いこともあり、また、第1保育所付近は道も狭く、駐車場も不足で、統合を機に、広い場所への移転も以前より、私も提案していました。

今12月議会での一般質問で、他の議員からのグラウンド整備を、お願いする問に対し、樋渡市長は、「小学校の運動場を町民も利用して、たとえ、グラウンドゴルフで、玉を打つ音が、コッコッ聞こえても良いのではないか」とのあえて町民グラウンド不要の主旨の答弁。

私は、思わず、「あつて良かさ」と、いつものヤジが出てしまった。しかし、次の日、別の議員から同じグラウンドに関する同主旨の質問が出たが、今度は、古賀副市長が、市長を制する様に、さつと答弁に立ち、地元と町民グラウンドについて話し合うとの態度異なる答弁。

執行部でまだ、十分な検討がされて無い様で、整備実現の可能性は、あると思われる。

ただ、私の願いとしては、朝日町民グラウンドではなく、新武雄市民も利用でき、合併特例債の活用できるものにしてもらいたい。

旧武雄市には、白岩運動公園など、高段で、車や荷物の搬入が不便な所が多い。少年のスポーツ大会は、コート2面が取れる、川副や江北・伊万里が多用されるが、その辺の研究も欲しい。

観光看板撤去 競輪サテライト移転

不同意の理由を説明します。

計画を、自らがしるに、住民の行政参加に無力感を与えるの思

私は、条例や予算案などに反対した時は、その理由を明確にすることに決めています。

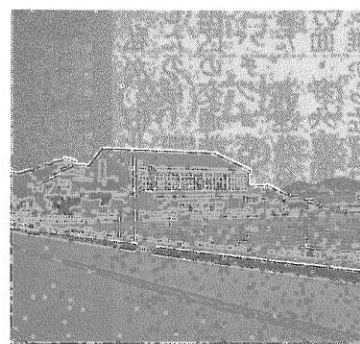
私の一期目のH9年頃と思うが学校給食の調理の民間委託を、早くから提案していたが、やっと市も動き予算案が出され採決の時に私は議場から退席し棄権した。

その時、他の議員や市民の方から、にげて卑怯者との批判を受けた。私が、職員さんから反感を受けるのを避ける為に退席したと見られたからだと思う。

私の考えは、民間委託は、調理と洗浄だけで、栄養や食材等は、学校内で作る「給食委員会」が決めるもので問題なく、また職員さんも公務員で首になることもなく心配していません。

そこで私が、こだわったのは、民営化で捻出できる1億円の余りの使用法が明確に示されず、教育予算の削減や、無駄なハコ物建設に使用されると意味がないと思いを、反対はしないが、退席の方法を取った。ただ、他の人とは分りにくい行動とも、自ら反省。

それ以降、反対の時は、退席せず、その理由を明確に表現するようになった。



新朝日保育所グラウンド予定地



撤去する看板

ところで、今議会、市長の提案された、予算案に反対したのは、

●大型看板撤去予算と
●競輪サテライト移転予算です。

【市内観光看板撤去工事費】
予算191万円で、4ヶ所の大型観光看板を撤去するもの。

市や市長の説明によれば、老朽化していることや、「ナビの発達した今日、大型看板は不要」等の考え方のようだ。

他方、市長は、木製看板への統一も発言されているが、具体的手順は示されていない。

計画を、自らがしるに、住民の行政参加に無力感を与えるの思

【サテライト武雄移転経費】
現在、物産館西側にある、たけお競輪の売り専用場外の車券発売所の事です。物産館の客と競輪の客が、駐車場、混雑するとの理由で、南裏側の物産館が臨時駐車場として貸地しているジャリの土地に、サテライトを移転させる計画。

市は、移転経費として、(機器やシステムの移転工事)約50万円を競輪特別会計から支出するもの。

他の議員の反対もあったが、その理由は、地主から、物産館が土地を賃借し、そこに、建屋を作り月20万円の賃借料金で、たけお競輪に貸し出す形だが、いわゆる、不動産の賃貸しで、市も土地などの貸す時は、又貸し禁止をしている。また、トラブルの原因にもなりやすいことから、地主から、たけお競輪が直接借りて設置すべきとの意見であった。

私が、また、今回、賛成できなかったのは、移転するに当り、近隣住民に対し、メモ1枚・電話1本もせず、いわゆる交通混雑等で迷惑かける施設にもかかわらず、住民が移転を知った時には、すでに、予算が議会を通っていたので、地元議員として、責任をまっとうできないの思いからです。

私が、また、今回、賛成できなかったのは、移転するに当り、近隣住民に対し、メモ1枚・電話1本もせず、いわゆる交通混雑等で迷惑かける施設にもかかわらず、住民が移転を知った時には、すでに、予算が議会を通っていたので、地元議員として、責任をまっとうできないの思いからです。

私が、また、今回、賛成できなかったのは、移転するに当り、近隣住民に対し、メモ1枚・電話1本もせず、いわゆる交通混雑等で迷惑かける施設にもかかわらず、住民が移転を知った時には、すでに、予算が議会を通っていたので、地元議員として、責任をまっとうできないの思いからです。



サテライト移転先

新武雄市の下水道 現状と未来

【各町の状況】

【旧山内町】

全域を、農業集落排水で、5地区に分けて整備している。今3月1日には、5ヶ所目の大野処理場が完成し、整備が完了する。

また、集落から離れた家には、町が浄化槽を設置するなど完璧に

【旧北方町】

町を六角川から2分割し、南部は農排で整備済みだが、北部に人口が多い為に、人口比は10%の整備しかない。北部については、公共下水道での処理を計画されているが、具体的な着手はない。

【旧武雄市】

計画では、市街地の武雄町・朝日町を、公共下水道で741ha

がばいばあちゃん

1番バッター論

毎回議会報告として、以前は、私の質問と市の答えを中心に伝えていたが、最近、いまいち市からの返答がなくて、質問趣旨とずれているので掲載しにくい状況。

そこで、今12月議会分だった小ネタ話を書きつづけて見たい。

私は、がばいばあちゃんPRも良いが、合併の時の市民アンケートでは、上下水道や、雇用・交通・医療福祉が上位にあり、観光関係は低かった。そこで、北海道富良野をめざすならもっと本格的にやらなければならぬので、もう一度、市民ニーズのアンケートを取る方に求めた。しかし、市長は、アンケートはしない答え。

整備する予定だが、それを武雄町北部をI地区・南部をII地区・朝日をIII地区に分けてある。

しかし、現在正式に決定しているのは、武雄町北部のI地区内の138haを30年間で整備の方針だが具体的に着手しているのは、その内の、駅・松原・温泉の直角三角形の32haを、7年間で完成させるもので、22年度内の完成を目指す。

今年の12月には、処理場が完成し、川端地区は供用開始されるが高架や区画整備が約2年遅れているので、H24年度までかかると見

具体的には、本町・松原・中町・宮野町・西浦の全部が整備され、内町・永松・小楠・八並は、区画整理等にかかる一部と言う。

ただ、別の議員とのやり取りの中で、野球にたとえたと何番バッターかと問いに、市長は、一番バッターとの答えだった。私は、がばいばあちゃん3番か4番の中心打者と思っていたので、びっくり。

ただ、一番バッター程度で、全国的観光地になれるのか疑問に思うが、ほっとした面もある。では、中心の、3・4番は、何の事業か、早く市民に示して欲しい。

一方、新たに、武雄名物としてハープ茶のレモンガラスや、そばの作付けを市長が提案され、新年度予算で具体的にやるものと思う。また、産業まつりの、一本化については、「祭り審議会」が、別々の開催を求めれば従うと、方針変更示唆。

一方、市長の勇気ある発言としては、介護保険料を下げる為に、広域圏で事業を行っているが、まず、庁内で方策検討を明言。

他方、農業集落排水として10地区を予定するが、政治的に上水道水源近くの2ヶ所は着手し、西川登の矢筈はH11年に完成し、若木の川内地区は、20年に供用開始を予定とするが、その後の農排8ヶ所の整備の目途はまったく無い。

だから、旧武雄市の計画では、公共下水道は、1地区30年×3地区で90年で、農排も加えれば、約100年かかる計画で、5年以上前から計画見直し(下水道マップ)を提案していた。また、整備費が1/3の市設置型の浄化槽の整備で、3倍早い整備を提案していた。

◎今後の動き◎

本来なら、旧武雄市は、前古庄市長の方針により、今年度から、市設置型の浄化槽事業着手で、ある程度スピードアップが期待されたが、昨年6月頃、樋渡市長が、新市計画を作りなおすとの方針で、市の水処理方法を地区ごとに定める、下水道整備計画(下水道マップ)の見直しを、コンサルタントに発注した。しかし、聞く所によると、18年度中にできる予定が、19年度の夏までかかると言う。

一方、12月議会では、H20年度には、公共下水道や農排や公設浄化槽の使用料金の統一とする。とまだ、処理施設の整備の段取りもできない状況で、次の課題を打ち出し、混乱に拍車がかかる不安も。どうせ、一遍には、全部できないし、処理方式も、3種しかない

のだから、地区と話をまとめた所から、随時着手し、同時に計画の見直しをしても何ら問題ない。

見方では、計画の見直しを言い訳にした、事業の先送りとも取れる動きである。

新春提案 武雄バイパス延伸

私が、旧北方町との合併に期待したのは、旧武雄市との境の大崎地区の交通渋滞の解消でした。

パチンコ店やスーパーが並び、また、高速からの出入り、伊万里方面・多久方面から幹線が集まり、武雄から佐賀方面に行く時にはいつも、この地区の込み具合で、到着時間が変わる状況です。

一方、この地域の地図を良く見ると、武雄バイパスから、点線で大きな道路予定が示されているが、聞く所では、大町・北方バイパス接続を想定して国が買収済み。

私は、これを、以前県が、合併推進に当り、道路整備の優先順位を、一番に合併の町、二番に合併の市、三番に合併しない市とし、

の約束を利用して、県道での整備をお願いし、498号線のように、後に国道昇格をしてはと提案。

一般質問の項目として「北方バイパス整備」としたので、全線整備の一部着工と思われ、まともな答えはもらえなかった。

しかし、同じ建設委員の北方の黒岩議員によれば、この点線のルートは、北方バイパスの始点ではなく、武雄バイパスの終点が、用地買収しているのに、未着工になっているだけ。との話に、可能性はあると思う、これからも続けて提案して行くつもりです。

尚、大崎う回道の、国道タッチが、北方支所付近が良いカリムス付近が良いのかも考えたい。

公立保育所の将来計画 6月出されていた

正式には、「公立保育所の役割及び管理に関する計画」と言って公立保育所の将来計画を示すものだが、見方によれば園舎改築や民営化の時期を示唆した計画案と取る事もできます。

H15年にも一度改定され、東・西川登保育所の統合民営化が出された。しかし、私は、園舎を改築するのなら、民間の方が国の補助が多いので、さらに改築と合せ民営化を求めています。

前古庄市長は、再度の見直しを約束され、予定では、昨年の17年度に作成する事になっていた。

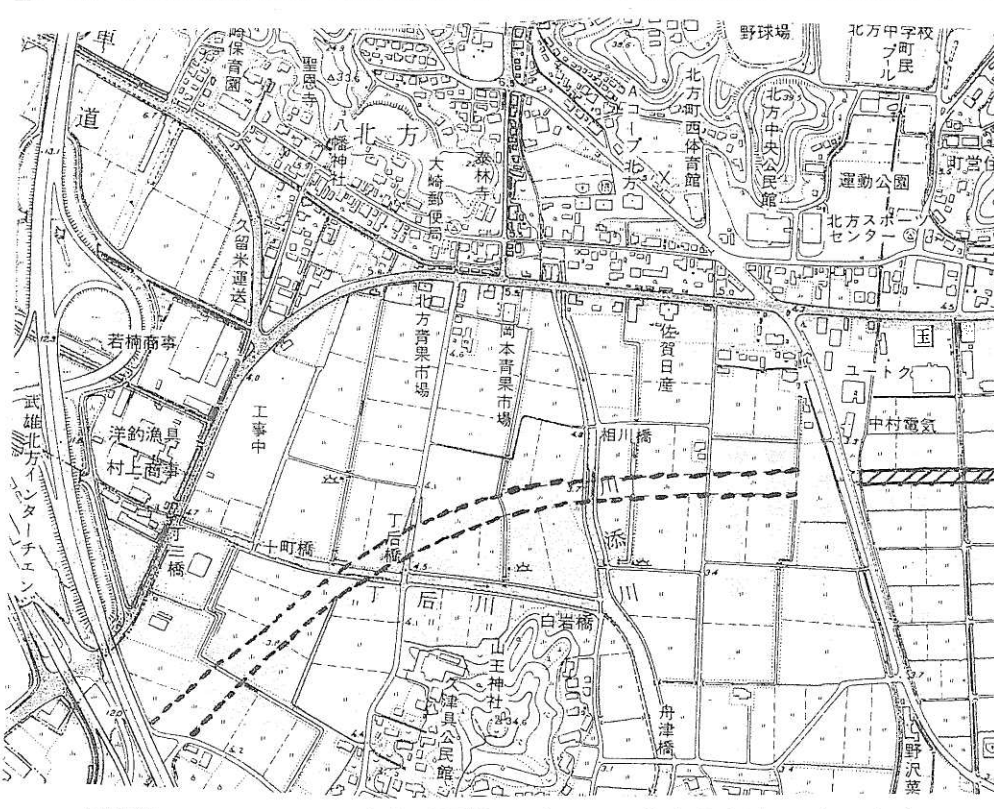
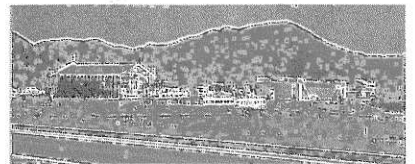
一方、今12月議会の一般質問の中で、すでに、18年の6月に改定計画が策定されていて、議会や市民に公表されていないことが判った。そのポイントを表にします。

武雄市(公立)維持	第2次(新築)
朝日(民営)	H20~H21
若木(民営)	H20

作成後記と今後のプラン

前回、栄八通信が、武雄町・朝日町を中心に、佐賀新聞に折り込まず、スーパー近くで配付するようになっていますが、人通りも少なく時間的に多く配付できないので、予定を勝手に変更して、住宅街を中心に、1800枚を手配しました。どうもすみません。必要な方には、市内どこでも配達しますので、ご連絡下さい。

ところで、年末の12月議会では年の終りでもあり、賛成して終るのですが、私は、今回あえて問題と心に思う案には、反対しました。嬉野市の議会案には、議員の賛否が明示してあり、与党と思われる女性議員が、一人反対してある議案もあり、自分に正直で勇気あるなと感心。私も、できる限りおもねる事なく、行動したい。



-----が武雄バイパス未完了区間 //////は北方中央線 現在工事中